

広報

おおの

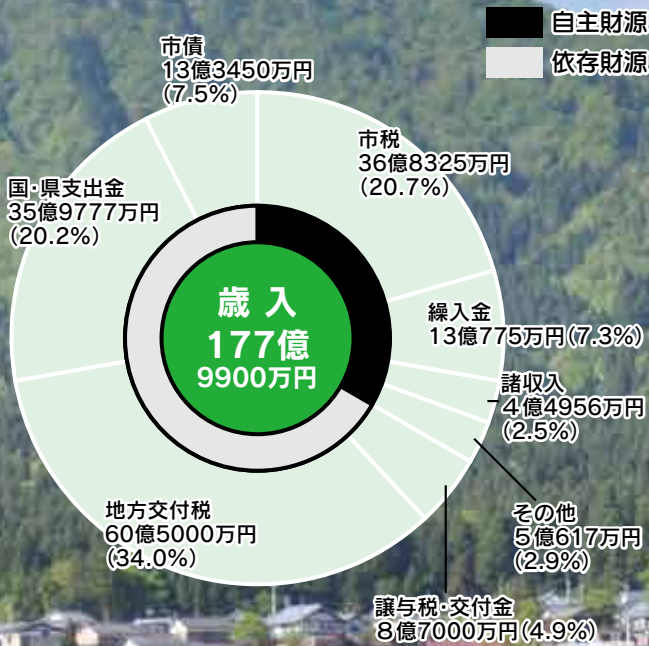


4月号

平成27年(2015年) NO.837



平成27年度 市の予算



市税の個人市民税と法人市民税は、景気回復による増収を見込んでいるものの、市税全体では減収見込みとなりました。市民の生命と財産を守るための事業や臨時的な事業の財源として、これまで計画的に積み立ててきた基金からの繰入金などを活用しています。

平成27年度当初予算が、市議会3月定例会において可決されました。一般会計の予算総額は177億9900万円。最終年度を迎える越前おおの元氣プランの各施策の仕上げとともに行政改革を進め、人口減少対策に取り組む予算としています。

企画財政課 (☎64・4823)

目次

- P2 平成27年度市の予算
- P6 国の補正予算を活用/嘱託職員募集
- P7 定例市議会/ブランド発信を支援
- P8 地域防災計画を改訂
- P10 武家屋敷旧田村家オープン など
- P11 新たな介護保険制度がスタート
- P13 結の故郷奨学金受付開始 など
- P14 第51回越前大野名水マラソン

今月の表紙 団子で息災を

3月8日、江戸時代から伝わる木本の伝統行事「初午団子まき」が行われました。団子まきは、約200年前、木本で度々起こっていた火災を避けようと始まったと伝えられています。この日は、約300*の団子がまかれ、集まった約500人と共に無病息災と五穀豊穡を祈願しました。

ご意見は「やまびこ」へ

市政へのご意見などは、「市民提案箱やまびこ」や「電子メールやまびこ」へお寄せください。
電子メールアドレス
yamabiko@city.fukui-ono.lg.jp

市ホームページ

<http://www.city.ono.fukui.jp/>

市ホームページ 携帯電話用サイト

<http://www.city.ono.fukui.jp/i/>



今月の国民の祝日

国旗を掲げましょう

29日 昭和の日

特別会計 予算額 108億9467万円

事業名	予算額	前年度比
国民健康保険事業	45億5539万円	10.3%増
和泉診療所事業	9759万円	2.6%増
後期高齢者医療	3億8241万円	△7.0%減
介護保険事業(保険事業勘定)	40億909万円	0.6%増
介護保険事業(介護サービス事業勘定)	1939万円	7.3%増
簡易水道事業	1億3627万円	5.0%増
農業集落排水事業	3億2187万円	3.3%増
下水道事業	13億7266万円	25.9%増

企業会計 予算額 2億4616万円

事業名	予算額	前年度比
水道事業	2億4616万円	△10.0%減

用語解説

【歳入】

自主財源…市が独自に収入するもの
 依存財源…国・県などから交付されるもの

市税…市民税や固定資産税など、市に納められる税金

繰入金…積立金(基金)の取り崩しや他の会計から繰り入れるお金

地方交付税…財政力に応じて国から交付されるお金

国・県支出金…市が行う特定の事業に対して、国や県から交付されるお金

市債…市の借入金(借金)

【歳出】(目的別)

議会費…市議会の運営経費

総務費…地域づくりや防災、管理運営経費など

民生費…子育て支援や高齢者福祉の充実など

衛生費…医療・保健の充実、ごみ対策など

労働費…労働者への支援など

農林水産業費…農業・林業の振興など

商工費…商工業や観光の振興など
 土木費…道路・住宅・公園の整備など

消費費…消防、救急救命など

教育費…教育・文化・スポーツの充実など

災害復旧費…災害による被害の復旧など

予備費…予算編成で予期しなかった支出への対応

【歳出】(性質別)

人件費…報酬や給与など

扶助費…高齢者、児童、障害者などを支援する経費

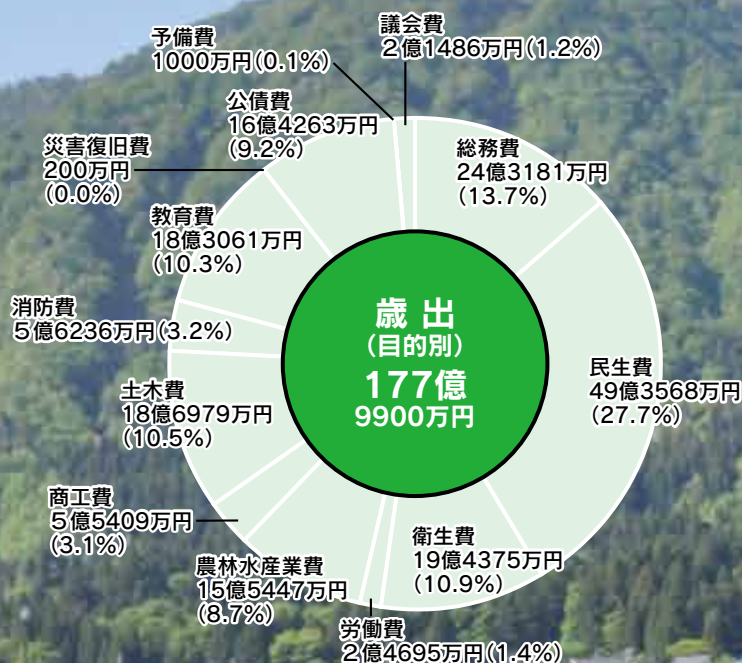
公債費…市の借金などを償還する経費

建設事業費…道路や公共施設の整備に必要な経費

物件費…賃金や旅費、委託料など
 補助費等…市から他の団体などに対して、行政上の目的で支払う経費

繰入金…一般会計と特別会計との間で、相互に過不足を補うための経費など

一般会計 ()は構成比



前年度比5.2%減で、過去3番目の規模になる予算となりました。

城下町南広場と特用林産物生産・加工施設整備などの整備事業を盛り込んでいます。人口減少対策として若者と子育て世帯への支援や地域づくり、産業の振興、環境保全対策にも着実に取り組んでいきます。

歳出予算の性質別内訳

義務的経費

項目	予算額	構成比
人件費	33億8166万円	19.0%
扶助費	30億7855万円	17.3%
公債費	16億4237万円	9.2%

投資的経費

建設事業費	20億2442万円	11.4%
-------	-----------	-------

その他の経費

物件費	29億9921万円	16.9%
維持補修費	3億893万円	1.7%
補助費等	17億6123万円	9.9%
積立金	9865万円	0.5%
投資および出資金、貸付金	2億8210万円	1.6%
繰入金	22億1188万円	12.4%
予備費	1000万円	0.1%



小学生ふるさと芸能発表会

優しく賢くたくましい**大野人**が育つまち

- 新** 地域情報通信基盤整備事業補助 1億4000万円
上庄・阪谷地区の超高速ブロードバンド環境の整備に対して補助(民設民営)します。
- 新** 世代間結づくり事業 103万円
自治会がコミュニティ会館を利用して、住民の世代間交流を進める事業を支援します。
- 臨** 小学生結文化伝承事業 16万円
受け継がれてきた結の心を子どもたちに伝えるための分かりやすい資料を作成します。
- 臨** 越前大野城ライトアップLED化事業 1713万円
越前大野城の夜間照明を水銀灯からLED電球に変更します。

人が元気

共に思いやり支え合う**安全で安心な**まち

- 新** 再生可能エネルギー等導入事業 3011万円
拠点避難所18カ所に太陽電池式LED照明を整備します。
- 新** ベビ待ちセミナー事業 30万円
妊娠しやすい体に整えるための必要な方法を学ぶ妊活セミナーを開催します。
- 継** 城下町南広場整備事業 2億9021万円
旧庁舎の解体と災害時の防災拠点としての駐車場、イベント広場を整備します。

総合防災訓練



平成27年度の 主要事業

第五次大野市総合計画の構想実現に向けた四つの柱と六つの基本目標に沿って主な事業を紹介します。

- 新** …新規事業
- 臨** …臨時事業
- 継** …継続費を設定する事業

重点的・積極的な予算の配分

市民福祉向上のため、次の方針に基づいた新たな事業に取り組むとともに着手している事業についてはこれまでの成果を踏まえ取り組みを継続します。

<方針>

- 人口減少の抑止
- 教育の充実
- 結の心を未来へ継承
- 「元気で活力ある産業」の創出と「観光振興」
- 越前おおのまるごと道の駅の実現に向けた取り組み
- 越前おおの型農業の推進
- 林業の活性化
- 豊かな自然資源の活用
- 自転車を活用したまちづくり
- 第七次行政改革大綱の推進



化石発掘体験

美しく豊かな自然環境を 育み継承するまち

- 新** ふるさと水と土ふれあい事業 1970万円
農道、水路脇などの畦畔への植栽経費を支援します。
- 貯留施設整備事業 495万円
冬期間の水不足を解消するため、貯留施設整備に向けて、水質マップなどを作成します。
- 臨** 化石保全活用事業 1179万円
化石の保全と活用のため、化石アドバイザーの養成や調査研究、発掘体験などを行います。

自然が元気

行財政改革

基本構想実現に向けた行政運営

- 第五次大野市総合計画推進事業 245万円
第五次大野市総合計画の進行管理と検証を行うほか、後期基本計画を策定します。
- 行政改革推進事業 77万円
第七次行政改革大綱を推進し進行を管理します。
- 臨** 国勢調査経費 1517万円
10月に実施される国勢調査に係る経費です。

新庁舎落成



重点道の駅認定

誰もが快適で暮らしやすいまち

- 自転車を活用したまちづくり事業 1億565万円
市道中挾美里線と真名川河川敷周辺に自転車走行空間を整備します。
- 新** 橋梁補修事業 1100万円
道路法施行規則の改正に基づいた100橋の定期点検を行います。
- 新** 「まるごと道の駅」拠点整備事業 2059万円
「まるごと道の駅」拠点整備のため、実施計画の策定や測量、地質調査などを行います。

産業が元気

越前おおのの魅力あふれる活力あるまち

- 新** 地酒で乾杯推進事業 60万円
地酒で乾杯を推進し、地酒をPRする事業を補助します。
- 新** 女性起業家・経営者支援事業補助 826万円
女性経営者、起業家に対して、店舗改装、新規事業展開に係る経費を補助します。
- 結の故郷特産作物生産拡大支援事業補助 200万円
特産作物の作付面積拡大を図る農業者に対して機械などの購入を補助します。
- 臨** 特用林産物生産・加工施設整備事業 1億5371万円
特用林産物生産施設・加工施設の備品購入や外構工事を行います。

でっち羊かんまつり



国の補正予算を活用

3月議会では、平成26年度3月補正予算も審議されました。除雪経費の増額や事業の確定に伴う補正のほか、国の平成26年度補正予算による地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用した地域活性化や人口減少対策事業、特用林産物生産・加工施設の整備費が計上され、それぞれ可決されました。

○補正予算の概要

一般会計では、歳入・歳出にそれぞれ9億5376万9000円が追加され、予算総額は210億3469万8000円となりました。

国の補正予算に伴う補正の主な内容は▶プレミアム商品券の発行などを行う、地域住民生活等緊急支援事業に2億9670万円▶中心経営体などの農業機械導入に補助する地域担い手づくり整備事業補助に1739万1000円▶特用林産物生産・加工施設整備事業に6億9534万2000円となっています。

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金による主な事業

区分	事業	目的	内容	担当課
地域消費喚起・生活支援型	越前おおのプレミアム商品券事業	地域の消費喚起	商工会議所の商品券にプレミアム分を上乗せして発行 ※発行時期、取扱店、購入方法など詳しくは、5月号でお知らせします	商工観光振興課 (☎64・4816)
		多子世帯などへの生活支援／地域の消費喚起	多子世帯やひとり親世帯に対してプレミアム商品券の割引クーポンを兼ねた商品券を交付 ※5月以降、対象者に通知します	福祉こども課 (☎64・5142)
	結の故郷すこやか家族応援事業	結婚・出生世帯への生活支援／地域の消費喚起	過去2年以内の結婚や出生世帯に対して生活支援金(商品券)を交付	福祉こども課 (☎64・5142)
地方創生先行型	結の故郷はたらく若者応援事業	若者の定住促進	21歳以下の働く若者が、引き続き市内に定住することに対して奨励金を交付(最長4年間)	結の故郷推進室 (☎64・4824)
	結の故郷ゆめみらい支援事業	結婚・出生世帯への生活支援／地域の消費喚起	結婚や出生した世帯に対して生活支援金(商品券)を交付	福祉こども課 (☎64・5142)

嘱託職員募集

議会事務局嘱託職員

募集人員 1人

採用期間 5月1日～平成28年3月31日(更新あり)

勤務場所 市議会事務局

職務内容 議会関係会議のテープ起こしなど

勤務時間 1週間当たり30時間、午前8時30分から午後5時15分の範囲内で勤務

報酬 市嘱託職員の任用等に関する要綱の規定を適用(各社会保険あり)

応募資格 コンピューターサービスタ技能評価試験ワイプロ部門2級以上または同程度の資格を有する人(テープ起こしの経験があることが望ましい)

提出書類
 ・履歴書(市販のもの)
 ・写真(履歴書に貼付、6カ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向き)
 ・ハローワークの紹介状

申込方法 市議会事務局に持参か郵送(郵送の場合、封筒の表に「議会事務局嘱託職員」と朱書きし書留郵送)

募集期間 4月1日～13日
 同(持参の場合、田、回を

試験

除く午前8時30分～午後5時15分。郵送の場合13日(必着)

日時 4月18日(土)午前9時
 場所 結とびあ(有終会館)
 方法 筆記試験(一般教養)と面接

その他 結果は、4月下旬に受験者全員に通知。詳しくは、問い合わせください

☎ 市議会事務局
 (☎64・48330)

F 91218666 (住所は書かなくても届きます)



定例市議会

議長に高岡氏、
副議長は永田氏

第393回定例市議会が、
2月24日から3月20日まで開
かれました。正副議長の選挙
が行われ、議長に高岡和行氏、
副議長に永田正幸氏を選出。
各委員会委員の選任なども行
われました。上程された議案
などの審議結果は、5月号で
お知らせします。

高岡氏は5期目。産経建設
常任委員長などを歴任してい
ます。永田氏は2期目で、総
務文教常任委員長などを歴任
しています。



永田 正幸 副議長



高岡 和行 議長

各常任委員会・議会運営委
員会の構成（敬称略。◎は委
員長、○は副委員長）

議会運営委員会	常任委員会		
	民生環境	産経建設	総務文教
◎松田 兼井 堀田 島口 畑中 砂子 元栄 昭一 敏栄 三郎 正夫	◎梅林 厚子 秀樹 昭一 勝人 利昭 山崎 永田 正幸	◎松田 元大 兼井 大 川端 義秀 藤堂 勝義 松原 啓治 榮 正夫	◎畑中 章男 育昌 高田 憲徳 廣田 和行 高岡 敏郎 島口 榮 砂子 三郎

越前おおのブランド発信 県外での活動を支援

広告活動や県外での物産販売を通して、越前おおのブランドを全国に発信する取り組みに対して補助します。

ブランド啓発促進事業

対象事業 越前おおのブランドを全国に発信し、強く印象付けて誘客を図る事業。啓発活動や物産販売活動など、対象者が自ら県外で実施する活動事業のうち、他の事業の対象となっていないもの

対象経費 ①旅費（交通費と宿泊費）②手数料（出店などに係る負担金や検査手数料、保険料、申請料など）③広告費（誘客を促進するための広告宣伝費など）

補助限度額と回数 補助対象経費の2分の1以内で、上限額は10万円。1団体当たり年間2回まで

ブランドPR拡大推進事業

対象事業 事業者が自社を宣伝するための広告物などに、越前おおのブランドロゴや越前おおのらしさをイメージさせる写真・絵・デザインなどを掲載する取り組み

対象広告物 ①テレビコマーシャル②屋外看板③屋外シャッター④チラシやポスター⑤リーフレットやパンフレット⑥紙やビニール製の手提げ袋、包装紙などのパッケージ⑦販促商品用のシール⑧業務用封筒⑨ポロシャツ、Tシャツ、法被

補助限度額 補助対象経費の3分の1以内で、上限額は①30万円、②③20万円、④～⑦10万円、⑧⑨5万円

共通事項

対象者 市内に在住か市内の事業所に勤務する3人以上で組織する団体または市内に所在地がある事業所

提出書類 事業計画書と収支予算書のほか関係資料。様式は結の故郷推進室に置いてあります。市ホームページからも入手できます

申請方法 結の故郷推進室に持参か郵送

締切 予算の範囲内で年間を通して受け付け。申請が多数の場合、先着順

その他 申請のあった内容を確認し採否を決定。提出書類は返却しない。詳しくは、問い合わせる

圖 結の故郷推進室（☎64・4824）〒912-8666（住所は書かなくても届きます）



越前おおの

大野市総合防災マップ

日ごろの備えと早めの避難を

平成18年7月豪雨

平成18年豪雪

平成18年豪雪

平成18年7月福井豪雨



平成18年豪雪

平成18年7月福井豪雨

我が家の防災メモ

避難が難しい場合に、ご家族の避難場所や避難方法について話し合ってください。

避難する場所

避難場所	避難経路	避難時間	備考

避難する場所

避難場所	避難経路	避難時間	備考

避難する場所

避難場所	避難経路	避難時間	備考

避難する場所

避難場所	避難経路	避難時間	備考

お隣やご近所にも声を掛け合って

地域防災計画を改訂

総合防災マップを配布

市では、市民の生命、身体、財産を災害から保護するために、災害対策基本法に基づき市の災害対策をとりまとめた地域防災計画を改訂しました。

東日本大震災以降、国や県で防災計画や災害関連の法律などが改正されたことから、本市に必要な内容を防災計画に反映しました。

改訂の主な内容

- 国の防災基本計画、県の地域防災計画の改訂を反映
- ・住民の防災意識の向上
- ・大規模災害時の円滑な相互支援のための応援、受援計画
- ・被災者の避難方法や受け入れ方法
- ・特別警報の伝達
- ・指定避難場所、指定避難所の設定（避難所の指定見直し）
- ・義務化された避難行動要支援者名簿の作成
- ・避難指示、勧告などの発令基準の見直し
- ・避難所の生活環境の確保
- ・避難所以外に滞在している住民の生活環境の確保
- 最近の風水害での課題を反映
- ・災害対策本部設置基準の改定
- ・（気象特別警報発令時の災害対策本部の設置）
- ・避難が夜間に及ぶ場合などの

避難所の設置など

総合防災マップを配布

地域防災計画の改訂に合わせて、市の防災マップを見直し、市総合防災マップを作成しました。いざというときに持ち出せるよう、家族の目に付く所に置いてください。

3つのマップを統合

これまでの「防災マップ」、「洪水ハザードマップ」、「地震防災マップ」の内容を、総合防災マップとしてまとめました。

防災メモの活用を

総合防災マップの最終面に、「我が家の防災メモ」を設けました。家族が避難する場所や緊急連絡先など、災害時に必要な事項を書いておきましょう。

防災防犯課

☎ 64・48000

東日本大震災から4年・復興の力に

3月11日、東日本大震災の発生から4年が経過しました。市では、平成25年から福島県相馬市に職員を派遣し復興を支援しています。

復興中の地元では、高校生たちが地元で頑張っている人たちを後押ししようと「そうまうま定期便」という取り組みを始めています。

詳しくは、『trees』ホームページ (<http://www.trees-soso.com/>) で確認できます。

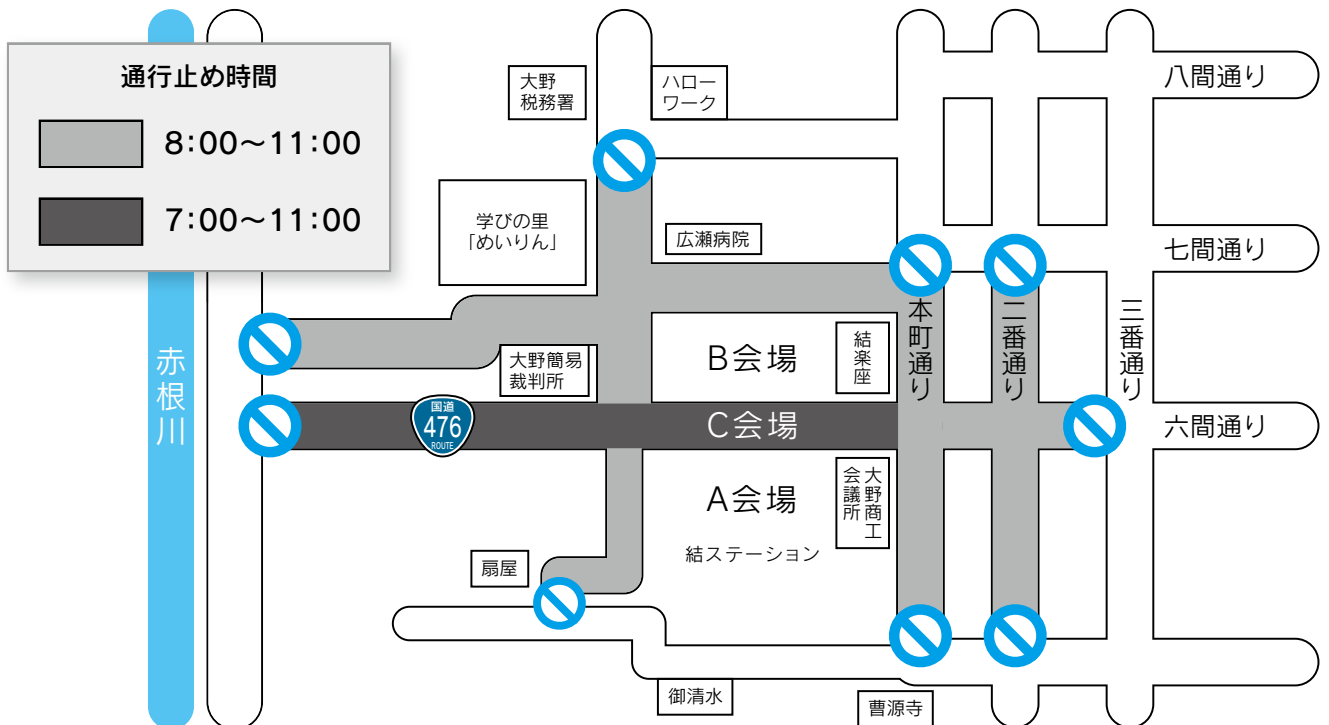
常備消防60周年 消防総合訓練

明治21年4月8日に発生した「大野町明治の大火」を教訓に、消防職員、消防団員の士気高揚、技術練磨と市民の皆さんへの火災予防の啓発を目的に、毎年消防訓練を実施しています。今年は、本市に消防本部が設置されて60周年の節目を迎えることから、近隣の消防関係者も参加し総合訓練を実施します。



日時 4月8日(木)午前9時～正午
 場所 結ステーション周辺・学びの里「めいりん」グラウンド
 実施内容
 ・開式、人員報告
 ・訓練礼式
 ・一斉放水
 ・操法披露
 ・合同救急救助訓練（岐阜県防災ヘリ、県防災ヘリ、郡上市消防本部、永平寺町消防本部、勝山市消防本部、大野警察署）
 ・音楽隊演奏（嶺北消防音楽隊）
 ・分列行進
 ・防災ヘリ・消防車両展示
 ・消防体験など
 その他 訓練当日は、図の範囲で通行止めになります。結ステーション周辺に用事がある人は、係員が案内します。

☎ 消防署 (66・0119)



武家屋敷旧田村家オープン



武家屋敷旧田村家は、大野藩の家老を務めた田村又左衛門家の屋敷跡(市指定文化財)です。主屋は文政10(1827)年の火災の後に、農村部から移築・改築された建物で、県内でも数少ない現存する武家住宅の一つです。平成25年度から進めてきた整備が完了し、一般に公開します。

開館日 4月25日(日)

落成式 午前9時～

一般公開 午前10時～

場所 武家屋敷旧田村家

(城町7-12)

開館時間

平日 午前9時～午後4時

日曜・祝日 午前9時～午後5時

入館料

大人 200円

(団体30人以上100円)

中学生以下 無料

休館日 年末年始(12月27日～

1月4日)、館内整理の期間

歴史博物館

(☎65・55500)

山火事予防運動

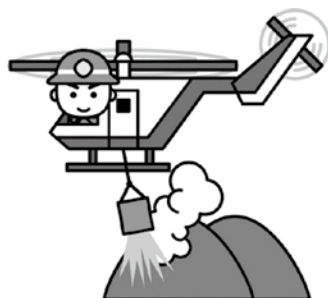
4月10日(金)～5月31日(日)

『伝えよう 森の大事さ 火の怖さ』

これからの季節は、1年間で最も山火事が発生しやすい季節です。山火事のほとんどは、人間の不注意によって起きています。強風時や空気が乾燥した時には、たき火や火入れは絶対に行わないでください。私たち一人一人が火の取り扱いに注意して、大切な森林を守りましょう。

たき火や火入れをするときは、市民生活課(☎66・1111内線1208)に相談してください。

消防署
(☎66・0119)



新車両を配備

3月1日、消防署に小型動力ポンプ付水槽車が配備されました。この車両には、1万ℓの水が積載でき、消火活動用の水が不足する場所で幅広く活用されます。
消防署 (☎66・0119)



新たな介護保険制度がスタート

市では、4月からの介護保険料を改定しました。要介護者の増加や介護事業所の増加による介護サービス給付額が増えることに対応するため、次のとおり保険料の基準額や所得段階などを変更しました。

健康長寿課 (☎65・7333)

主な変更点

○保険料の基準額を月額5100円から5500円に引き上げ
○これまで9段階だった所得段階を10段階に多段階化

費用負担の公平化

①市民税非課税世帯に対して、低所得者の保険料の軽減割合を拡大(平成27年4月から)
②合計所得金額160万円以上の利用者の自己負担割合を、1割から2割に引き上げ(平成27年8月から)
③施設の食費・居住費の負担軽減制度である「補足給付」の要件に資産などを追加

介護保険制度の主な改正点「地域包括ケアシステムの構築」と「費用負担の公平化」の2つの観点から改正されました。

地域包括ケアシステムの構築

①在宅医療・介護連携の推進、認知症施策の推進、生活支援サービスの実・強化など
②予防給付の訪問介護と通所介護を市が取り組む地域支援事業に移行(平成29年4月から)
③特別養護老人ホームの新規入所者を、原則、要介護3以上に限定(平成27年4月から)

・預貯金等の勘案(単身1000万円超、夫婦2000万円超は対象外)(平成27年8月から)
・世帯分離している配偶者の所得勘案(市民税課税は対象外)(平成27年8月から)
・非課税年金(遺族年金、障害年金)を収入として勘案(平成28年8月から)

【第6期介護保険料(平成27年度から3年間)】

保険料の計算方法は次のとおりです。改定後の保険料は平成29年度まで継続します。

段階	区分	保険料(月額)	計算方法(基準額×保険料率)
第1段階	・生活保護受給者 ・高齢福祉年金受給者で、市民税非課税世帯 ・市民税非課税世帯で、本人の前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下	2475円	5500円×0.45
第2段階	・市民税非課税世帯で、本人の前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円超120万円以下	3850円	5500円×0.70
第3段階	・市民税非課税世帯で、本人の前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が120万円超	4125円	5500円×0.75
第4段階	・同じ世帯に市民税課税者がいるが、本人は市民税非課税で、前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下	4950円	5500円×0.90
第5段階	・同じ世帯に市民税課税者がいるが、本人は市民税非課税で、前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円超	5500円	基準額
第6段階	・本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が120万円未満	6600円	5500円×1.20
第7段階	・本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が120万円以上190万円未満	7150円	5500円×1.30
第8段階	・本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が190万円以上290万円未満	8250円	5500円×1.50
第9段階	・本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が290万円以上500万円未満	9350円	5500円×1.70
第10段階	・本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が500万円以上	9625円	5500円×1.75

※第1段階については、公費負担による軽減後の保険料率と保険料月額を記載しています

受賞を記念して植樹



3月13日、矢環境緑化実行委員会の「ゆめづくりまちづくり賞」表彰式が、矢区ふれあい会館で行われました。この賞は、3月号市民のページでも紹介しましたが、快適都市実現委員会(事務局・国土交通省近畿地方整備局)が近畿2府5県(福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)のまちづくりや地域づくりの取り組みの中から先進的な事例を表彰するものです。7回目となる今回は、優秀賞を3団体、奨励賞を2団体が受賞。矢環境緑化実行委員会は、県内では初となる優秀賞に選ばれました。

表彰式では、国土交通省近畿地方整備局の小俣部長から盾が授与されました。

3月18日には、実行委員会が里山の整備を始めた場所で、記念の植樹が行われました。

☎ 建設整備課 (☎64・4812)

30回記念 福祉ふれあいまつり

今年の福祉ふれあいまつりは、30回の節目を迎えます。この節目を記念して、通常のイベントに加えて記念イベントも行います。

日時 6月6日 午前9時～午後3時

場所 結とびあ (有終会館)

記念イベント

○東北支援チャリティー

岩手県陸前高田市、福島県相馬市の物産販売

○ふれあい抽選

後日配布のチラシに付いている抽選券とエコキャップ3個でできるガラガラ抽選会

○みんなでつくろう！エコキャップアート

市民が持ち寄ったエコキャップを使って、みんなで協力して一つの作品を作り上げることで、福祉と環境保全の意識向上を図ります

○前夜祭「宮川大助・花子講演会」

日時 6月5日 午後7時 (開場午後6時30分)

場所 結とびあ (有終会館)

入場料 無料 (整理券が必要)

その他 整理券は4月22日 社会福祉協議会と社会福祉協議会支所、各公民館で配布

○チャリティーオークション

市民や本市にゆかりのある作家から提供された芸術作品のチャリティーオークションを開催。作家と市民の交流を深め、売上金の一部を地域福祉活動に役立てます

日時 6月2日 午前10時～午後8時

(※6日は午後3時まで)

場所 結とびあ (有終会館)

☎ 社会福祉協議会 (☎65・8773)



平成27年度 結の故郷奨学金の申請受付を開始します

4月1日頃から、平成27年度の結の故郷奨学金の申請受付を開始します。希望する人は4月30日頃までに教育総務課へ申請書を提出してください。

○特徴

- ・卒業後、市内に居住すること
- ・返済額が半額になります
- ・結婚して夫婦で市内に居住すると、返済が免除されます

○応募できる人

- ・4月1日現在、満25歳以下
- ・大学などへ大学、短期大学、高等専門学校、専修学校に在学している人
- ・本市出身または市内に居住している人で、保護者も市内に居住(住民登録が必要)している人
- ・保護者の所得が基準の範囲内(保護者世帯の納付すべき市民税の所得割課税合計額が20万円以下の世帯で、市税の滞納がないこと)であること

○奨学金の額

- ・自宅通学 月1万円
- ・自宅外通学 月2万円

○貸与期間

- ・大学、短期大学 正規の最短修学期間内
- ・高等専門学校 4年以内(4、5年次と専攻科の期間)

○申請に必要な書類

- ① 結の故郷奨学金貸与申請書
 - ② 申請者の在学証明書
 - ③ 住民票謄本(申請者とその保護者の住民票)
- ※申請書、募集要項は、教育総務課、各公民館、市内高校で入手できます

○受付期間

4月1日～30日(平日の午前8時30分～午後5時15分に教育総務課で受け付け) ※郵送の場合、返信先と保護者住所の記載が必要

○貸与の決定

貸与対象者選考審査会で認定し、決定者には、5月までに通知します

○奨学金の貸与

奨学金は、毎年2回、6カ月分ずつを奨学生の指定口座

・専修学校 正規の最短修学期間内(高等課程を除く) ※大学院は該当しません。高等専門学校卒業後、大学に編入するなどの期間が重複する場合は貸与期間は4年間

に振り込みます(平成27年度は7月と11月)

○奨学金の返済義務者

返済義務は、奨学生であった者、保護者、保証人が負います

○奨学金の返済

奨学金の貸与は無利子で、返済期間は原則10年以内の分割返済

○他の奨学金との併給

この奨学金は、他の奨学金と併給することに制限はありません。ただし、他の奨学金が併給を認めていないことがありますので、注意してください

☎ 教育総務課

(☎64・48827)

〒912-1866 (住所は書かなくても届きます)



寄席普及公演「越前おおの寄席」開催

本場の寄席が越前おおのにやって来る！バラエティー番組などでお馴染みの林家正蔵さんの落語や、紙切り、太神楽曲芸など本格的な寄席演芸をお楽しみください。

日時 6月4日(日)午後7時(開場午後6時30分)

場所 文化会館

内容 寄席ばやしの実演と解説、落語(林家たけ平)、紙切り(林家正蔵)、落語(古今亭菊志ん)、太神楽曲芸(鏡味仙三郎社中)、落語(林家正蔵)

入場料 前売り券2000円、当日券2500円(全席指定) 1人4枚まで ※前売りで完売した場合、当日券はなし。未就学児の同伴、入場はご遠慮ください

チケット発売日 5月7日(日)午前10時

チケット発売場所 文化会館、5月11日(日)以降は、学びの里「めいりん」

☎ 生涯学習課 (☎65・5590)



第51回 越前大野名水マラソン



参加申込締切は4月17日金

大会パンフレットは、スポーツ振興室、エキサイト広場、各公民館などにあります。郵便振込用紙が必要な場合は、スポーツ振興室で受け取ってください。パソコンや携帯電話から大会専用サイトへアクセスし、申し込むこともできます。

市内の小中学生には、学校を通じて専用の申込用紙を配布します。

☎ 越前大野名水マラソン大会事務局

(スポーツ振興室内 ☎65・5592 FAX66・2885)

大会専用サイト <http://runnet.jp>



大会専用サイト
QRコード

種目	部 門
2* ₀	小学親子(1～3年の各学年)、小学4年(男子・女子)、小学5・6年(男子・女子)
3* ₀	中学(男子・女子)、一般男子(高校生を除く)、一般女子(高校生を除く)
5* ₀	一般男子(39歳以下・40歳代・50歳以上)、一般女子
10* ₀	一般男子(39歳以下・40歳代・50歳代・60歳以上)、一般女子
ハーフ	一般男子(39歳以下・40歳代・50歳代・60歳以上)、一般女子(39歳以下・40歳以上)

ランナーに優しい コース設定

コースは、スタートからハーフ折り返し点までの高低差が約50%と、穏やかなことが特徴です。ハーフ折り返し点までの間に、給水所を4カ所とスポンジポイントを2カ所設置し、充実した給水サービスに務めます。万が一に備えて、AEDや救護用品を持った救護スタッフもコース各所に待機しています。

